

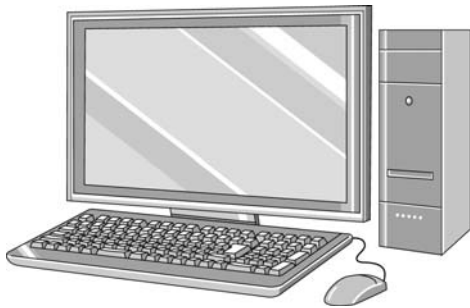
議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は地方分権時代に即した議会活性化、より市民に身近な議会を目指し平成17年に設置し、平成23年5月に再設置された第4次委員も終盤を迎えようとしています。

本委員会は二元代表制の議会は「討論と審議の機能」や「住民の意見を代表する機能」を十分に発揮させるために、開かれた議会であるか、議論は充分に尽くされているか、衆知を集める努力はしているのか、行動が伴っているのかなど、委員は検証と自問自答を行いながら議会改革を継続し、さらに新しく改革を展開して実績を重ねる、改革先行型を行ってきました。

中でも懸案事項であったインターネット議会中継実証テストは、2日間の一般質問試験配信で、1100件以上のアクセスがあり、一層の情報公開に期待ができるものと考えます。

同時に議員は、可視化に伴い今まで以上に論点・争点を明らかにした議論が求められます。



一般会議（富良野まちづくりトーク）は諸課題に柔軟に対応するために、自治法で規定する委員会のほかに議会独自に要綱を定め、市内で活動している市民団体、NPO等の市民と議員が「まちづくり」の諸課題について、自由に意見や情報を交換する機会として委員会では協議を重ね、平成25年1月1日より受付を開始し2月1日より実施することに決定しました。今後は、まちづくりトークや議会報告会を重ねて衆知を集め、議会の政策形成力を高める機会といたします。なお、残る各委員会の公開の充実、議会基本条例などの検討課題についてもさらに協議を行っていきます。

議会報告会

■市民参加まちづくりの扉を開く議会報告会

平成24年度の議会報告会は15会場を予定し8月に9会場11月には東部児童センター・東山公民館・扇山地区公民館・育良会館の4か所で行いました。

報告会では議会活動の現状と、常任委員会・特別委員会の調査内容、一般質問、補正予算の概要を報告し、参加者の皆さんと質疑・応答を行い、数多くの地域課題や議会、行政への意見をいただきました。

主なものとしては、防犯灯・街路灯整理と負担軽減、人口減少に伴う地域コミュニティの課題、自主防災対策、市民の身近な町内会活動の現状と今後の課題について出されました。また、(仮称)こども園の今後について、東4条街区再開発事業の進捗状況と今後の事業計画、駅前駐車場不足など市街地再開発事業に対する意見なども出されました。



東山公民館にて

議会に関しては、富良野市議会における反問権について、東4条街区に対する議会の議論経緯と議会対応について、議会における一般質問者数について、常任委員会、特別委員会の傍聴などについて意見交換を行いました。

報告会で出された多様な課題・意見等については、議会の中で整理し、内容によっては政策提案として一般質問、委員会に反映し、市民参加の議会活動を可能にしています。

この積み重ねが、市民の信頼を生み、議会報告会が協働する議会として市民参加まちづくりの扉を開き、富良野の未来を創っていくものと考えます。